

吉備津神社

大吉備津彦命を主神とし、その異母弟の若日子建吉備津日子命と、その子吉備武彦命等、一族の神々を合わせ祀る。

本殿は応永32年(1425)に再建され、「吉備津造り」とも呼ばれ、我が国唯一の様式であり、国宝に指定されている。釜の鳴る音で吉凶を占う鳴釜の神事が伝えられている。(岡山市北区吉備津 931)



吉備津彦神社

大吉備津彦命を主神とし、兄の彦刺肩別命、姉の大倭迹々日百襲比賣命、妹の大倭迹々日稚屋比賣命、孝霊天皇等を祀る。

本殿は寛文8年(1668)岡山藩主池田光政公が造営に着手し、子息の綱政公の元禄10年(1697年)に完成した。

8月には特殊神事「御田植祭」が執行される。(岡山市北区一宮 1043)



吉備津神社

吉備津彦命を主神として祀り、通称「一宮さん」と呼ばれ、大同元年(806)に勧請された。

本殿は慶安元年(1648)に福山城主水野勝成公が造営したもので、国重要文化財に指定されている。

境内には、天然記念物の「公孫樹」の大木があり、そのまわりで市立大祭が行われる。

(福山市新市町宮内 400)



社名に「吉備」を冠する全国の神社 (祭神は吉備津系)

No.	神社名	鎮座地
<b>岡山県</b>		
1	吉備津神社	岡山市北区吉備津 931
2	吉備津彦神社	岡山市北区一宮 1043
3	吉備津岡辛木神社	岡山市中区海吉 1109
4	吉備津神社	小田郡矢掛町上高末 4027
<b>広島県</b>		
5	吉備津彦神社	尾道市東土堂町 387
6	吉備津神社 (宗造神社)	庄原市高門町 257
7	吉備津神社	庄原市高町 1218
8	吉備津神社	庄原市本村吉備谷
9	吉備津神社	福山市新市町宮内 400
10	吉備津神社	神石郡神石高原町油木甲 3149
11	吉備津神社	神石郡神石高原町永野 2563
12	吉備津神社	神石郡神石高原町草木 3776
13	吉備津神社	三次市甲奴町宇賀 1782
14	吉備津神社	庄原市東城町久代 1749
15	吉備津神社	広島市安佐北区落合南 7-9-19
<b>島根県</b>		
16	吉備津神社 (天満宮境内)	簸川郡斐川町沖洲 694
<b>兵庫県</b>		
17	吉備津神社	姫路市香寺町中寺 432
18	吉備神社	揖保郡太子町下太田
19	吉備彦神社	尼崎市金楽寺町 2-17-1
<b>香川県</b>		
20	吉備津神社 (石井神社境内)	仲多度郡琴平町苗田 932-1
<b>愛媛県</b>		
21	吉備津神社 (天満宮境内)	今治市延喜志最甲 656
22	吉備津神社 (船木神社)	新居浜市船木 1515
23	吉備津神社 (八幡大神社境内)	四国中央市土居町野田甲 1203
<b>奈良県</b>		
24	吉備津神社	山辺郡山添村西波多 3707
<b>和歌山県</b>		
25	吉備神社 (田殿丹生神社境内)	有田郡有田川町出 335

吉備津系(孝霊天皇、吉備武彦命等を含む)を祭神とする神社(境内神社を含む)は吉備津神社を中心に多数祀られている。山陽放送学術文化財団リポート二二二号(昭和五十三年十一月一日発行)によると岡山県に一八〇社、広島県に七十六社、鳥取県に九社、島根県に十一社、兵庫県に九社、香川県に十三社、愛媛県に九社、奈良県に一社、和歌山県に一社の計三〇九社に上る。特に広島県に吉備津神社と称する神社が十社もあり、岡山県の二社を大きく上回る。これは吉備津神社(通称一宮さん・福山市新市町)から波及したと思われるが、当時の吉備津信仰の大きさを垣間見る事ができる。

三国にまたがる吉備津神社

古代の吉備国は現在の岡山県、広島県東部、兵庫県西部、香川、愛媛両県の島嶼部を含む大きな国であり、古今和歌集に「真金吹く吉備の中山おびにせる細谷川の音のさやけさ」と詠まれているように、鉄文化が栄え、吉備王国が形成されていた。

しかし、大和朝廷が吉備国の強大さを警戒し、吉備国を備前国、備中国、備後国に分割したとされる。また、美作国は和銅六年(713)備前国の六郡を割いて置かれた。また、備後国は明治以後広島県に編入された。

この吉備国に大和朝廷から吉備津彦命が派遣され、温羅を討った事により、吉備国に平和と秩序がもたらされたといわれる。

その、吉備津系の祭神を祀る神社は、吉備津神社を中心に中四国、遠くは奈良、和歌山にも及び、吉備津彦命の神威が広く人々の間で崇敬されていた事が窺える。

特に、吉備国の中央にあたる備中国には吉備津神社(岡山市北区吉備津)、備前国には吉備津彦神社(岡山市北区一宮)、備後国には吉備津神社(福山市新市町宮内)と三国にそれぞれ核となる吉備津彦命を祀る神社を建立し、この三社から各地へ吉備津系の神社が波及して行ったのである。また、島根県にも吉備津系の神社が有るのは、崇神紀六十年秋七月の条に、出雲国造の祖で、出雲振根を武淳河別と協力して討ったとあり、そのためと思われる。